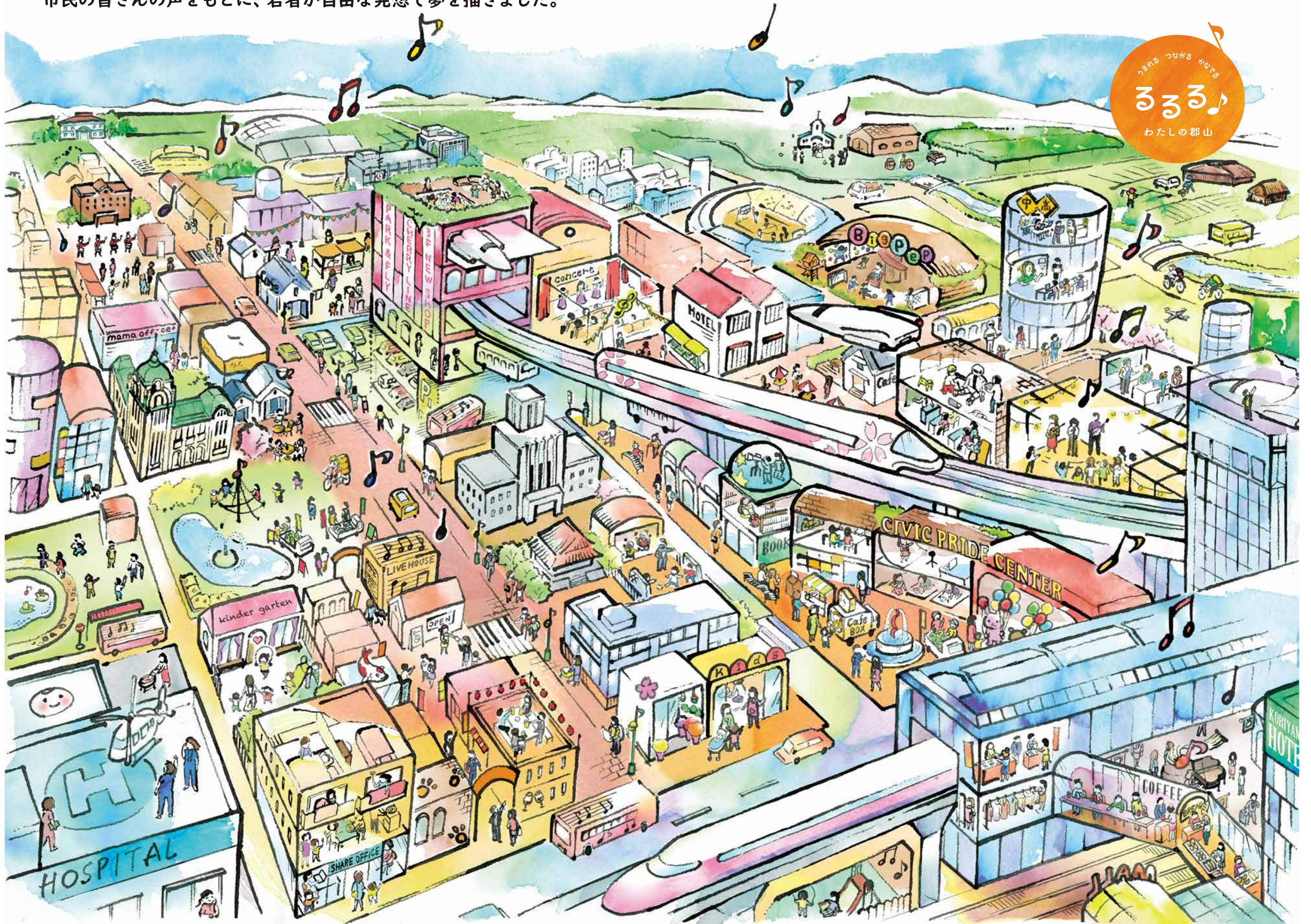


市民の皆さんの声をもとに、若者が自由な発想で夢を描きました。



つなげる つながる かなでる
 るるる
 わたしの郡山

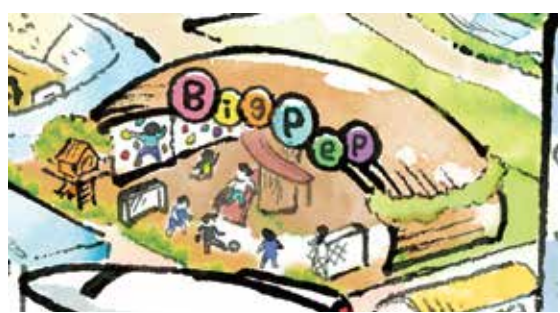
歩きたくな^る 「新フロンティア通り」

郡山には歴史を感じさせてくれるレトロな街並みがたくさん残されています。駅前から麓山地域までに現存する金透小学校や如宝寺、郡山合同庁舎、麓山公園、郡山公会堂、安積疏水事務所など、歴史的建造物や文化遺産を保存・再生し、郡山の文化の視点に。
駅前のフロンティア通りから、麓山・開成館まで「新フロンティア通り」と命名し、電線の地中化やシニア世代も歩きやすい歩道を整備するなど、歩きたくなる街並みをつくりたい。



元気な子どもを育て^る 「遊び場日本一」

歩道脇やちょっとしたスペースに、子どもが遊べる遊具を点在。遊び心をくすぐる仕掛けが街のあちこちに見られ、子どもたちの笑顔があふれる「遊び場日本一」をめざします。また、子どもも大人も思い切り遊べるアリーナ&全天候型公園(BIG PEP)も整備し、街全体で子どもたちの「遊び」を応援。日本一元気な子どもを育てます。子育て世代を支えるのは、地域に暮らす大人たち。みんなが「先生」となり、市民みんなが学びを通じてつながる街に。



まちを巡^る 「ターミナル@旧豊田浄水場」

公共交通の効率化を図るため、バスローテーションシステムを導入したい。また、ビッグパレットふくしま前に新駅を、さくら通りを東西に走るモノレール(通称「チェリーライン」)の開通をめざします。さらに、「旧豊田浄水場」を地下駐車場を完備したターミナルにし、駅前の渋滞を緩和。多様な交通システムの実現で、郡山市東西南北どこに住んでいても自家用車に頼らず、あらゆる世代が「いつでもだれでもどこへでも行ける」、「健幸」で「環境」に配慮した地方都市圏のモデルシティとなり、一人一人の自由で楽しい生活を叶えたい。



みんな集ま^る 「基地@このまちのサード・プレイス」

街なかに、大人も子どもも世代を超えて集まる交流基地をいくつも作りたい。一つは、誰もがまちづくりに参加できる拠点「シビックプライドセンター」。集まった人たちのまちづくりアイデアをみんなで実現していく場所に。空き地を活用したケージ型のイベント基地は、ライブやシネマシアター、マルシェなど自由に使える場所。旧豊田浄水場の一部は、「シビックパーク」としてひろびろ使える広場型の基地に。基地は、自宅や職場・学校に次ぐ第3の居場所(サードプレイス)として、新たなひとのつながりとまちのにぎわいを生み出し、郡山で暮らす毎日が楽しくなります。



東西がもっとつなが^る 「商業施設@郡山駅」

郡山駅は東西通路を北側に移し、幅を広げて両サイドに店舗を展開。その先に商業施設とホテルの複合施設をつくりたい。広域連携により、周辺市町村の観光もPR。交通の要である郡山駅を拠点に福島県全体の情報発信の場、そして夜は呑んだら泊まる街・郡山にしたい。
市民からの要望の高かった、駅から徒歩圏内の堂前を若者が集まるセンターに！夜間営業のみの路面店を昼間貸し出し営業。昼夜ともににぎわいを見せ、活性化を図りたい。



夢をカタチにする^る 「現代版『開成社』」

郡山若者応援ファンド・現代版「開成社」を創設し、出資者・地元企業が創業者・挑戦者を応援する仕組みをつくりたい。若者や女性、移住者が夢を実現できる「チャレンジエリア」を構築し、誰でも起業家になれる、挑戦できる風土を醸成し、創業や女性活躍を支援。アドバイスするのは、長く郡山で生活をしてきた人たち。先人の知恵と経験、そして場所を若者が継承する、まさに伝統と革新が融合したエリアを構築。市内外にPRし、移住者の獲得もめざしたい。



自分らしく生き^る 「子連れOKの施設開設」

互いの価値観を認め合い、結婚・出産・育児・教育・キャリアに関する多様な選択肢があり、自由に「子育て」や教育環境を選べる街に。まずは、子連れOKのコワーキングスペース(会議室、打ち合わせスペースなどを共有しながら独立した仕事を行う共働ワークスタイル)を開発し、乳幼児と一緒にお父さん・お母さんが仕事をできる拠点づくりにしたい。子育てに特化したシェアオフィスやシェアハウスも建設。施設の中ではシニア世代が活躍する「子育てマイスター」が滞在し、子育てをサポート。



世界で活躍する^る人材を育てる 「中高一貫校の設立」

教育改革が急務。教育を変えることで市民の意識を変え、ローカルな問題を自分たちの力で解決できるように。そのために未就学児から非認知能力を高める教育を推進するため、教育(Education)+技術(Technology)の造語=エドテック(EdTech)が整った教育環境を整備。新たな価値を生み出せる人材を郡山から。
また、市民からの要望の高かった世界最先端技術や知識を学べる「中高一貫校」の設立をめざし、世界で活躍する人材を育てたい。



音が見え^る 「motto楽都・郡山」

郡山市民が築いてきた「楽都・郡山」「音楽都市・郡山」を醸成させ、音楽で明るい元気な街をつくりたい。巨大な音符のモニュメントを郡山駅前に設置したり、横断歩道を五線譜・鍵盤をモチーフにしたりし、見て音が感じられる公共物が街のあちこちに点在。また、郡山市民による音楽祭やカラオケ歌合戦なども定期的に開催。駅前に置かれたストリートピアノは、誰でも自由に弾くことができ、市民みんなが音楽家になる。街の音楽情報を毎日発信し、音楽があふれる街にしたい。



新しい働き方・暮らし方をお試しす^る 「移住促進に向けた簡易宿泊施設の開設」

郡山への移住に興味のある人々に対して気軽に利用できる簡易宿泊施設(ゲストハウス)を開発し、移住者にとっての総合窓口を設置。WEBサイト上で地元企業の紹介、観光情報や、行政等が提供する移住支援サービスを案内。定期的に移住検討者向けの早煮会等の交流イベントを実施。郡山市外からでも関わることでできるホームページやデザイン制作の仕事も紹介することで、地元企業とのつながりを段階的につくる機会を設けたい。



郡山GDDPメンバーがめざす 10年、20年先の未来の郡山のカタチ。

民間目線で、郡山の夢や希望などの将来像を考える「郡山ブランドデザインProject(GDDP)」が2017年7月27日に発足しました。2018年4月にスタートした「郡山まちづくり基本指針」の理念を踏まえ、同年11月の策定に向けて夢を描いてきました。
市民一人一人が、地域をよくしていこうと当事者意識を持って関わる。まさに「シビックプライド(Civic Pride)」を持って街づくりに関わることが大切であり、シビックプライドの醸成こそが未来を創ると考えています。帰属意識と参加意識、自分の選択が意味を持っている実感、それぞれの人が感じ、お互いに助け合い、力を合わせる街・郡山をめざしませんか。

2017人の声を 提言に反映 しました♪

メンバーによる会議のほか、市民公開講座や市民参加型イベントを開催し、これまで約2000人の市民の皆さんが参加。多くの声を聞かせていただきました。それをもとに、郡山ブランドデザインProjectのコンセプトに決定したのは、「つながる つながる かなでる るるる」わたしの郡山。これまでのプロセスの中から、新しいビジネスやアイデアが生まれる、人と人と街がつながる、人生や音楽をかなえる。それぞれの最後の文字を「るるる」というフレーズでつなげ、楽しさを伝えるとともに、市民一人一人が自分の「るるる」を考えてもらい、街に關わって欲しいとの思いを込めました。

あなたのアイデア を聞かせて♪

今後「郡山ブランドデザインProject」では、市民自身が当事者として参加・交流できるシビックプライドセンター機能をまずはウェブ上に開設し、まちづくりの拠点にします。また、「るるる」市民会議を開催するなど、市民の皆さんの声を引き続きまちづくりに反映させていきます。

来年1月25日(金)には、これまでの活動と提言を詳しく紹介する「成果報告会」を開催。当日、会場内ではスマートフォンから提言に関する意見を、まじりに投稿することができる。参加型の報告会です。わくわくする郡山の未来や夢を一緒にカタチにしていきたいです。

ウェブサイトからも、あなたの考える「るるる」や、成果報告会後はまちづくりに関するアイデアや意見が投稿できるようにします。ぜひ郡山ならではの「るるる」ユニークなアイデアをどんどんお寄せください。

Webもチェック!
<https://rururu-koriyama.net/>



成果報告会開催

1年半にわたって活動を続けてきた「郡山ブランドデザインProject」の成果報告会を開催します。お問い合わせの上、ぜひご参加ください。
■日時 平成31年1月25日(金) 午後6時~8時
■会場 郡山市中央公民館「多目的ホール」 ■入場料 無料
■定員 500人(先着順)
■申し込み・問い合わせ 郡山ブランドデザインProject(郡山商工会議所内) ☎024(921)2610

